



テクニカル・メッセージ

大中型路線バス 排気管組付け時の注意事項について

整備や部品交換において排気管を組み付ける際に、取り付けボルトの締め付け不足やクランプ及びクランプとボルト間に入れるスペーサに組み付けの間違いがあった場合、振動により排気管が動き、排気管に亀裂が入るといった事例がございます。

排気管の組み付け時にはクランプ及びスペーサが正しく組み付けられているか確認したうえで、正しいトルクで締め付けを実施していただけますようお願い致します。

■ 対象車両

新短期・新長期大中型路線バス ブルーリボンⅡ、レインボーⅡ

■ 排気管取り付け部位



車両外観

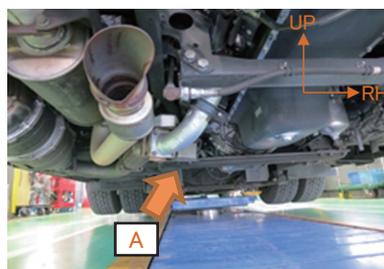
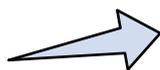


図1：排気管取り付け部

■ 排気管組み付け時の注意点

<クランプの取り付けに関する注意点>

・排気管の取り付け状態

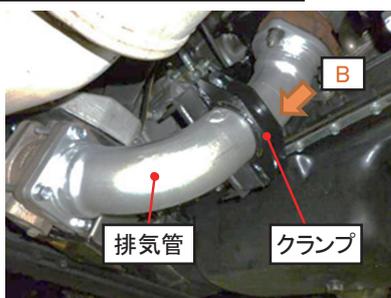


図2：図1 A矢視 クランプ取り付け部位

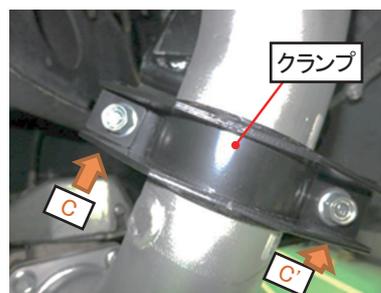


図3：図2 B矢視 クランプ取り付け状態

・クランプの取り付け方向の注意点

注意 クランプの取り付け方向について

クランプに溶接されたカラーの幅が左右で異なります。
カラーの幅が広い方をエンジン側になるように組み付けてください。

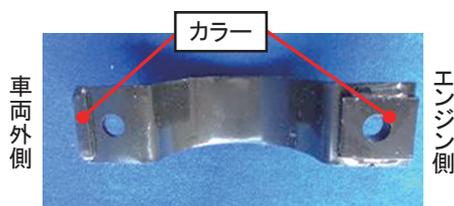
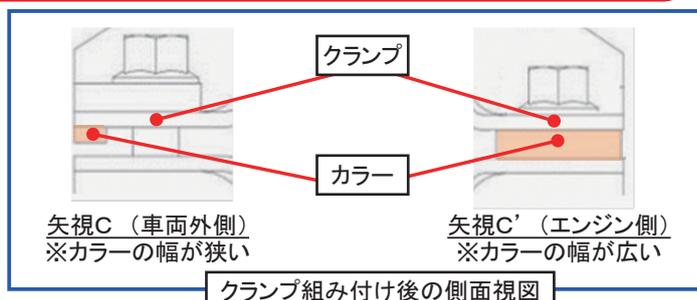


図4：クランプ取り付け面写真
※左右でカラーの幅が異なる



クランプ組み付け後の側面視図

・ 取り付けボルトとクランプ間のスペーサ取り付けについて

注意 スペーサの取り付け位置、方向について

クランプの片側のみスペーサが入ります。
クランプの車両外側、ボルトとクランプ間にスペーサを入れてください。
スペーサは非対象の形状になっています。
スペーサは穴の位置がクランプの内側に寄った状態で取り付けてください。

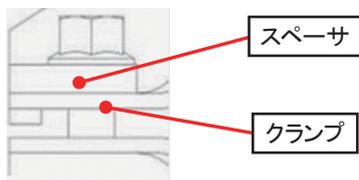


図5：写真3 矢視C（車両外側）
※ボルトとクランプ間にスペーサが入る

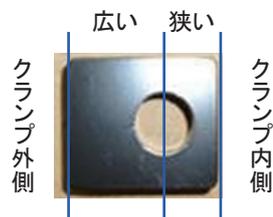
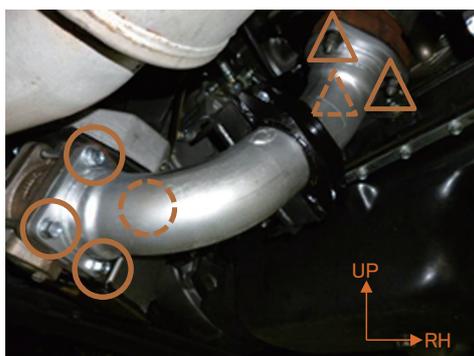


図6：スペーサ取り付け面写真
※ボルト穴が中心になっていない

<締め付けトルク>

注意 各ボルトの締め付けトルクについて

下図の指示通りのトルクで締め付けを行ってください。



○締め付けトルク：46N・m (4.6kgf・m) (4ヶ所)
△締め付けトルク：83N・m (8.3kgf・m) (3ヶ所)

A矢視



□締め付けトルク：65N・m (6.5kgf・m) (2ヶ所)

B矢視